

「世界へ配信すべき技術」

新潟県 新潟大学教育学部附属新潟中学校 3年 高橋 ^{たかはし} まりあ

日本は多くの山や川などの豊かで美しい自然に囲まれた島国だ。そんな美しい国、日本にも歴史をさかのぼると私には想像もできない程の恐ろしい災害の記憶が残っていることが分かった。地震年表を見るだけでも記録としては416年からはじまり現在まで至る。なかでも関東大震災や阪神淡路大震災、東日本大震災などは被害も甚大で、地震大国と言われる日本ならではの避けられない自然災害があった事を知った。そして記憶にも新しい東日本大震災のタイムリーに伝えられる津波の恐怖、土砂の押し流される様子などは今でも脳裏に焼き付き、忘れられない。だが、この現実はいつ、どこで起きてもおかしくないのである。私たちは常に予期せぬ災害と隣り合わせであることを忘れてはいけけないのだと考える。

私は新潟に住んでいる。新潟は日本海に面しており、漁業も盛んで、信濃川や阿賀野川をはじめ多くの川もあり、水田により米どころとしても全国的に有名である。水も食べ物も美味しく、美しい自然が多く、とても住みやすい新潟が私は大好きだ。だが、調べてみると新潟県は土砂災害が全国でも1位2位を争うほど多い事を知った。海や川などが多いために、土壌が水分を多く含んでおり地盤が弱く、降雨・降雪が多い事が原因だという。県内のニュースでは時折地滑りのニュースなどを目にする事もあった。地震について学ぶ機会があり、私は平成16年に起きた新潟県中越地震について調べた事があった。その地震では多くの方が犠牲となり、山が崩れ、土砂災害が起き、土砂に押し流された車や家屋が数多くあったと学んだ。道路が地滑りにより寸断された様子、コンクリートの地割れ、山からの土砂崩れの写真など様々な写真を見たが、山が一瞬のうちに崩れ地滑りをしながら大木も大きな岩も簡単に運びながら流れていく様はどれほどのものなのだろうと想像もつかない被害の様子に驚いた。そしてその被害を実際に受けた方たちはどれほどの恐怖があったのだろうかと思うと胸が痛んだ。地震当時の私はまだ幼く記憶はほとんどないが、新潟の震災や災害について調べていくうち、あまりにも恐ろしい災害の記憶に思わず絶句してしまった。美しい山々が一瞬のうちに流れるように崩れ落ち、膨大な被害を作り上げる。尊い人命のみならず全てのものを奪ってしまう土砂災害をこれからは私たちが防ぐことができないのだろうか。

日本は地震大国であり、海に面した島国であるなら、その地滑りは予知できなかったのだろうか。地震を予知する事は無理であっても地震のメカニズムは分かっているはずである。「プレートの境目で地震が起こるといふなら何か対策しておくべきではないのか。」と、だれもが感じる事だろうし、もちろん対策もされていると分かっているのだが、資料を見ることしかできない、何もできない自分にもどかしさが募っていた。学校でハザードマップというものが配られた。地滑り災害が多い新潟県ならではの対策だ。ハザードマップとは自然災害の被害を予測したり、避難経路や避難場所などが地図と共に分かりやすく書かれているものだ。私の自宅は市街地なので近くに山や海はないが、自宅にいた場合や学校にいた場合などの避難場所を家族で再確認する事ができた。また、新潟県はハザードマップがあり、津波・洪水・浸水・道路冠水想定箇所・土砂災害・ため池・液状化・なだれなど多く種類別に詳しく書かれている。土砂災害の多い新潟県は対策事業に関して様々な取り組みをしている先進県なのだと改めて感じた。ただ、そういった先進と言われる土砂対策や、地滑り防止工事等も実際には私たちに分かりにくい事もあると考える。どのように行われているか、どのような対策を取られているのかなど見えにくい部分をもっと透明化されることが必要だと感じる。

では私たちにもできることはないだろうか。

まず、自分の住んでいる所は大丈夫という安心感は捨ててはいけない。土砂災害はいつ起こるか分からないからこそ、常に備えておく必要があると考える。例えば、土砂災害の起こりそうな身近な場所をイラストと共に地図で示し、まだ災害意識の少ない小学生たちに、私たちの口から伝えてみるのはどうだろうか。土砂災害の恐ろしさと共に常に備える必要性を伝える事で、私たち自身も、より多くの事を学べるのではないかと考える。

日本は豊かで美しい国というだけではなく、災害対策に対しても先進国であるという事はとても誇らしいことだ。せっかくの先進技術なのだから日本だけでなく、世界に向けて広く発信できたらきっと世界中で土砂による災害が減るはずだ。日本から、いや新潟からその技術やこの思いを配信していきたい。